

## 第48回原産年次大会の開催と取材について

2015年4月1日

一般社団法人 日本原子力産業協会

日本原子力産業協会は「第48回原産年次大会」を下記のとおり開催します。  
つきましては、添付の「第48回原産年次大会の取材について」の資料をご参照  
のうえ、事前の取材申し込みのお手続きをお願いします。

### 記

1. **会 期**：2015年4月13日(月)～14日(火)
2. **会 場**：東京国際フォーラム ホールB7  
〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-5-1
3. **基調テーマ**：「なぜ原子力か？」
4. **構成と内容**：添付のプログラムをご参照ください  
(大会当日まで変更が生じる場合もあります)  
なお、最新情報は当協会ホームページに随時掲載しています。  
<http://www.jaif.or.jp/understanding/>
5. **添付資料**：
  - ・第48回原産年次大会プログラム
  - ・第48回原産年次大会の取材について
  - ・第48回原産年次大会 取材登録申込書
6. **本資料配布先**：(順不同)  
文部科学省：科学記者会・文部科学記者会、経済産業省：ペンクラブ・経済産業  
記者会、環境省：記者クラブ、外務省：記者クラブ  
エネルギー記者会、経団連記者クラブ、外国人記者クラブ

## 8. 原産年次大会とは

原産年次大会は、日本原子力産業協会がその主要事業のひとつとして昭和43年以来開催している国際会議で、毎年国内外から約千名の参加を得ています。本大会は、エネルギー・原子力の平和利用上の重要な課題について、国内外の専門家を中心とする意見を発表、その解決策を見出すための討論を行うとともに、原子力研究開発利用の進め方について国民の理解促進に資することを目的としています。本大会をより開かれたものとするため、原子力関係者だけでなく、広く一般市民の方々にも積極的に参加を呼びかけています。

## 9. 一般社団法人 日本原子力産業協会について

一般社団法人 日本原子力産業協会（会長：今井 敬）は、わが国のエネルギー問題における原子力利用の重要性を踏まえ、国民的立場に立って原子力の平和利用を進めるとの産業界の総意に基づき、政府が定める原子力政策の推進に協力し、原子力の平和利用を促進することによって、わが国の国民経済と福祉社会の健全な発展向上に資することを目的とする公益法人で、約440の会員で構成されている民間団体です。

なお当協会は、1956年以来活動を行ってきた社団法人 日本原子力産業会議が創立50周年を迎えたことを機に改組し、2006年4月に新たに発足したものです。

### ——< 本件お問い合わせ先 >——



(一社)日本原子力産業協会 政策・コミュニケーション部 竹本、木室  
〒105-8605 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平タワー9F  
Tel 03 (6812) 7103 Fax 03 (6812) 7110  
Email media@jaif.or.jp  
当協会HP <http://www.jaif.or.jp/>

以 上





## 第48回原産年次大会プログラム

2015年4月13日(月)～14日(火)

基調テーマ「なぜ原子力か？」

2015年3月23日

一般社団法人 日本原子力産業協会

日本原子力産業協会は、主要活動のひとつとして、国内外から広く関係者の参加を得て、毎年春に「原産年次大会」を開催している。

「原産年次大会」は、国内外の原子力関係者および有識者等多数参加のもと、エネルギー・原子力開発利用上の重要な問題についての意見発表や討論を行い、本大会を通して得られた重要課題とその解決策を見出すべく、関係者が認識や意識を共有するとともに、交流・相互理解に資することを目的としている。あわせて、わが国原子力産業界の現状・実力を国内外にアピールするとともに、世界に学び、国際協調の重要性を確認する機会となっている。

第48回大会は、福島第一原子力発電所の事故後、原子力に否定的な世論が長期化・定着化している中、本当にこのまま脱・減・遅「原子力」を図った場合、日本の将来は一体どうなるのか、また世界への影響はどうなるのか、海外の経験と知見に学びつつ、日本と世界において原子力が果たす役割を考える。

### ◆会 期

2015年4月13日(月)～14日(火)

### ◆会 場

東京国際フォーラム ホールB7

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-5-1

TEL 03-5221-9000

<http://www.t-i-forum.co.jp/general/access/>

### ◆お問い合わせ先



一般社団法人 日本原子力産業協会 国際部

〒105-8605 東京都港区虎ノ門1-2-8

虎ノ門琴平タワー9F

TEL 03(6812)7109

FAX 03(6812)7110

E-mail: [48th-annual@jaif.or.jp](mailto:48th-annual@jaif.or.jp)

Website: <http://www.jaif.or.jp/understanding/>

| 4月13日(月)  | 4月14日(火)  |
|---|---|
| <p><b>開会セッション (9:30-12:30)</b></p> <p>&lt;所信・挨拶&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今井 敬 日本原子力産業協会 会長</li> <li>○ 宮沢 洋一 経済産業大臣 (依頼中)</li> </ul> <p>&lt;特別講演&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 天野 之弥 国際原子力機関(IAEA) 事務局長</li> <li>○ デニス・ブレア 笹川平和財団米国(SPFUSA) 会長、元米国国家情報長官、元米太平洋軍司令官</li> <li>○ ウィリアム・マグウッド OECD/原子力機関(NEA) 事務局長</li> <li>○ 山地 憲治 地球環境産業技術研究機構 理事・研究所長</li> </ul> <p>&lt;福島第一原子力発電所の報告&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 増田 尚宏 東京電力株式会社 常務執行役、福島第一廃炉カンパニー プレジデント</li> </ul>  | <p><b>セッション2 (9:30-12:30)</b></p> <p><b>このままでいいのかニッポン</b></p> <p>このセッションでは、脱・減・遅「原子力」を図った場合、日本の将来は一体どうなるのか、エネルギー安全保障や国力(経済・技術・人材)の観点から議論する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ モデレーター:澤 昭裕 21世紀政策研究所 研究主幹</li> </ul> <p>&lt;基調講演&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ジョナサン・ハットウェル 駐日欧州連合代表部 副代表・公使</li> </ul> <p>&lt;パネリスト&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 豊田 正和 日本エネルギー経済研究所 理事長</li> <li>○ 藤沢 久美 シンクタンク・ソフィアバンク 代表</li> <li>○ 松原 隆一郎 東京大学 大学院 総合文化研究科 教授</li> <li>○ 櫻井 敬子 学習院大学 法学部 教授</li> </ul>                               |
| <p><b>セッション1 (14:00-17:30)</b></p> <p><b>なぜ原子力かー世界の観点</b></p> <p>このセッションでは、電力市場の自由化を進めてきた国、エネルギー安全保障や気候変動への対応から新設を進める国、積極的に海外に展開する国など、海外の経験に耳を傾けその智恵に学び、日本の将来に生かすとともに今後原子力が世界で果たす役割を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ モデレーター:小出 重幸 日本科学技術ジャーナリスト会議 会長</li> </ul> <p>&lt;講演&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ レオナン・ギマランイス ブラジル原子力発電公社 企画・経営・環境担当理事</li> <li>○ 趙 成昆 中国原子力産業協会(CNEA) 副理事長</li> <li>○ クリストフ・ベアール 仏原子力・代替エネルギー庁 原子力開発局長</li> <li>○ シブ・アビラシュ・バルドワジ インド原子力庁 ホミ・バーバ・チェア、元インド原子力発電公社(NPCIL) 理事</li> <li>○ キリル・コマロフ ロスアトム第一副総裁</li> <li>○ ハーゲン・ヘイ 英国エネルギー・気候変動省(DECC) 原子力開発局長</li> </ul> | <p><b>福島セッション (14:00-17:30)</b></p> <p><b>ふくしまの未来予想図</b></p> <p>このセッションでは、福島の復興に向けて前向きに取り組む福島の人々の姿を伝えるとともに、産業界や消費地が福島の復興のために出来ることを、福島の将来を担う世代とともに考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ モデレーター:開沼 博 福島大学 うつくしまふくしま未来支援センター 特任研究員</li> </ul> <p>&lt;基調講演&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 増田 寛也 日本創成会議 座長、元総務相</li> </ul> <p>&lt;パネリスト&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 植木 安里紗 モデル/タレント</li> <li>○ 木村 元哉 福島大学 行政政策学類 1年生</li> <li>○ 小林 直樹 浪江町 総務課 財政管財係 副主査</li> <li>○ 松本 丈 株式会社夜明け市場 取締役、NPO法人TATAKIAGE Japan 共同理事長</li> </ul> |
| <p>レセプション<br/>(17:30-19:00、ホールB5)</p>   | <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">原産協会会員企業による展示会<br/>(4月13日~14日、ホールB5)</p>   |

\*日英同時通訳付き

## 第48回原産年次大会の取材について

### 1. 取材申し込みについて

事前登録をお願いします。取材申込書に必要事項を記入の上、FAXまたはe-mailにてお申し込みください。

大会当日、会場受付にて、お名刺のご提出をお願いします。その際、プレス用のネームカードと大会関係資料をお渡しします。

会場内ではネームカードを必ずご着用願います。

※ 4月10日（金）までに事前登録をお願いいたします。

### 2. プレスルーム（報道室）の開設

本大会開催中、「プレスルーム（報道室）」を開設いたします。講演者の発表資料等はプレスルームにて配布いたします。また、モニターTVを設置しますので、会場での講演がご覧になれます。また、PC用のネット環境を設置します。

### 3. 講演者等への取材

来日講演者等への個別取材のご希望がありましたら、4月8日（水）までに下記の担当へご連絡ください。可能な限り調整いたします。

なお、海外講演者取材のための通訳の手配を希望される方は、あわせてご連絡ください。（日英逐次 通訳手配料@5,000円/30分）

### 4. 記者会見等について

大会初日4月13日12:45-13:15に国際原子力機関（IAEA）天野事務局長の共同記者会見を予定しています。出席ご希望の方は、添付の取材登録申し込み書にてお申し込みください。なお、共同会見のみの登録はできませんので、ご注意ください。その他、海外講演者の一部による共同会見を予定しています。詳細は、決まり次第あるいは当日「プレスルーム（報道室）」の掲示にてお知らせします。

以上

#### 本件担当者

（一社）日本原子力産業協会 政策・コミュニケーション部 竹本、木室

〒105-8605 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平タワー9F

Tel 03 (6812) 7103 Fax 03 (6812) 7110

Email: media@jaif.or.jp



## 「第48回原産年次大会」の取材登録申込書

申込締切日：2015年4月10日(金)

取材に際しては事前登録が必要です。  
撮影などで入場される方も含め全員のお名前の登録をお願いします。  
当日は、お名刺を会場受付にてご提出くださいますようお願いいたします。

|                 |     |         |        |
|-----------------|-----|---------|--------|
| 社名              |     |         |        |
| ご連絡担当者<br>(ご所属) |     | 所属記者クラブ |        |
| 連絡先             | TEL |         | E-mail |

| お名前 | 取材希望        |             |                           | 撮影について |     |
|-----|-------------|-------------|---------------------------|--------|-----|
|     | 4/13<br>(月) | 4/14<br>(火) | 4/13(月)<br>天野事務局長<br>記者会見 | スチル    | ビデオ |
|     |             |             |                           |        |     |
|     |             |             |                           |        |     |
|     |             |             |                           |        |     |
|     |             |             |                           |        |     |

※取材日について、それぞれのご出席希望をご記入ください。  
※太枠内にご記入の上、FAXまたはメールでご返送ください。

なお、会見の詳細等については、別途決まり次第案内するか、当日会場に設けたプレスルーム（報道室）への掲示等でお知らせいたします。

本件お問い合わせ先

日本原子力産業協会 政策・コミュニケーション部 木室（きむろ）

電話：03-6812-7103

E-mail: media@jaif.or.jp

本紙返送先

FAX：03-6812-7110

E-mail: media@jaif.or.jp